

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	模写模造			担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始年度	昭和28年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	文化資源活用課		文化財第一課長 齋藤憲一郎 文化資源活用課長 篠田智志		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化財保護法 第1条			関係する 計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針) (平成27年5月22日閣議決定)				
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、現存の文化財(美術工芸品、建造物)と同一の材質、技法を用いて原作品と同様に製作し、伝統的技法の解明及び維持を図るとともに、製作した作品を公開しその活用を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国宝・重要文化財(美術工芸品)が、経年劣化等により適切な保存や取扱い及び移動等が困難であり、その他管理上の理由により公開を制限するものについて、文化財として固有の価値を可能な限り忠実に表現した模写・模造品を製作し指定品の保存を図り、さらに製作した作品は指定文化財に代えて公開し、その活用を図っている。また、文化財(建造物)を縮尺模型により全体像の把握を容易にするなど、文化財としての固有の価値を可能な限り忠実に表現した模写模造を製作し、公開活用を図ることで指定品の保存及び文化財理解を進める。								
実施方法	直接実施、委託・請負、その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	35.4	35.1	35.1	34.6	54.4		
		補正予算	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
	計		35.4	35.1	35.1	34.6	54.4		
	執行額		32	14.9	14.6				
執行率(%)		90%	42%	42%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		90%	42%	42%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	国宝其他模写模造費		34	54	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				
	諸謝金		0	0.2	令和5年度は、模写模造品の製作件数及び選定保存技術を積極的に用いた製作過程の記録動画制作にかかる費用を増額要望しているため。				
	職員旅費		0.1	0.1					
	委員等旅費		0	0.1					
	計		34.6	54.4					
	活動内容 (アクティビティ)	文化財の模写模造を本事業において推進し、一般への公開を通じて、文化財の活用促進を実施する。							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	文化財の模写模造の件数増加	模写模造件数/年	活動実績	件	4	3	3	-	-
			当初見込み	件	4	4	4	4	7
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/年間模写模造件数		単位当たりコスト	百万円	8.8	5	4.9	-	
		計算式	百万円/件	35/4	15/3	15/3	-		

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3年度	目標最終年度 -年度
	経年劣化等が進み、公開が困難な文化財について、固有の価値を再現した模写模造を製作し、技術の継承を行うとともに、これを公開活用することで、文化財を保護し、併せて活用を図る。	成果物の一般公開(貸与等を含む)件数割合		成果物を一般公開した件数/模写模造件数	成果実績	%	75	75
			目標値	%	80	80	80	-
			達成度	%	93.8	93.8	93.8	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	博物館等における成果物の一般公開件数(博物館等に照会・集計)							
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	12 文化芸術の振興		政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf			
	施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実		該当箇所	7ページ			
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	分野:						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:						
	取組事項	該当箇所						
事業所管部局による点検・改善								
	項目	評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)の重点戦略に挙げられており、社会のニーズを的確に反映している事業である。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	現在民間に委託して実施している事業であるが、どの文化財を模写模造の対象にするかの判断については、文化財の破損状況など保存の必要性を勘案して決定するため、全国文化財について状況を把握している国以外に行うことができない。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	劣化が著しい文化財の複製製作と、それを通じた技術者の技能向上は実際の製作を通じてしか不可能な事業であり、劣化が著しい文化財の複製製作は優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業の選定については、随意契約(公募)により実施し、外部有識者等で構成する審査委員会を経て決定されており、競争性や選定の妥当性は十分確保されている。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	また、当該事業は複数年を予定した事業であることから、形式的に競争性のない随意契約となるが、事業計画に基づき適切に実施されているか内容を審査し、作業内容の精査を行い毎年度適宜見直しをしている。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	支出対象経費を定め、受益者との負担関係が妥当となるよう事業を行っている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	作業内容を精査した上で契約しており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	契約時において、費目・使途の内容を厳正に精査しており、支出の合理性・必要性について適切にチェックしている。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	令和3年度に新規案件を実施する見込みであったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現地調査が実施できず、所有者との合意が得られない等したために開始できなかったもの。令和4年度は、新型コロナウイルス下においても計画的に事業を実施できるよう所有者との調整が済みであり、工夫しながら確実な執行を進めている。						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	企画競争を行うなどして競争性を確保し、また、契約時にも作業内容の精査等を実施することで適正化及び効率化を図っており、効率的な予算の執行に努めている。						
事業	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	過去3年間はいずれも成果実績が成果目標と同等である。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の実施に当たっては、経費の積算や使途などの妥当性を確認し、効率的かつ最小限の経費措置となるように努める。					

の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、不測の期間を要することとなり、当初予定された水準に達しなかった。令和4年度は、新型コロナウイルス下においても計画的に事業を実施できるよう所有者との調整が済み、工夫しながら確実な執行を進めている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	模写模造を行った作品は貸与等を通じて広く一般に公開していることから、有効に活用されているといえる。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-		
	事業番号					事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、専門的な知識と技術を要するために、一般競争入札には適さず随意契約で業者の選定を行っている。しかしながら、今後も十分な公告期間を確保しつつ、作業内容の精査等を行うことで、最適な事業実施を図る必要がある。 なお、本事業は、現存の指定文化財と同一材質、技法を用い、原作品と同様に製作し、伝統的技術の解明・維持、後世への記録保存の向上に努めるとともに、製作した作品を指定文化財に代えて貸与等を通じて公開し、その活用を行っている。						
	改善の方向性	引き続き、十分な公告期間を確保しつつ、外部の専門家や有識者を含む事業選定委員会による作業内容の精査等を行うことで、適切な事業実施を図る。						

外部有識者の所見

単年度で完成するものではないため、単年度の実績で評価するのが困難である。
 なお、連続して不用額が生じているものの合理的な理由があることから、事業の執行管理については適切に行われていると判断できる。

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
 善一部
 内改
 容

この事業は、外部有識者の指摘の通り、単年度で成果が出る事業ではなく、不用額が生じていることについても、合理的な理由があることから事業の執行管理は適切に行われていると認められる。しかし、連続してコロナ禍での進捗の遅れが見られるため、令和4年度では具体的に影響を受けた部分についての要因分析をし、より適切な予算執行に努めるべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執
 行
 等
 改

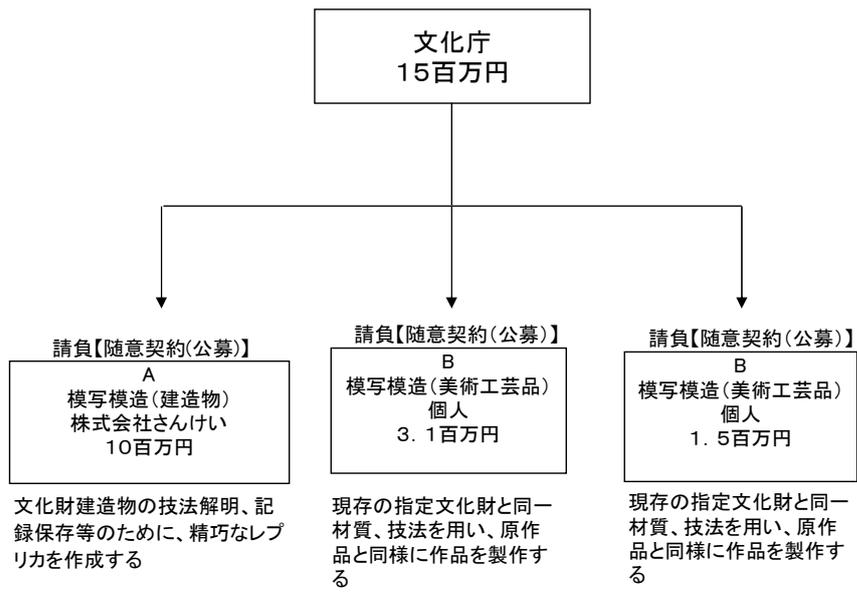
不用が大きい事業についてはその要因を分析し、効率的な予算執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	399			
平成24年度	419			
平成25年度	385			
平成26年度	378			
平成27年度	376			
平成28年度	356			
平成29年度	365			
平成30年度	366			
令和元年度	文部科学省 - 0363			
令和2年度	文部科学省 0365			
令和3年度	2021 文科 20 0388			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.株式会社さんけい			B.個人		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	製作監理費、 模型製作費	打ち合わせ費、木工事費、屋根工事費	9.3	人件費	賃金	2.8
	その他	一般管理費	0.7	事業費	調査費	0.1
				その他	一般管理費	0.2
	計		10	計		3.1
	C.個人			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	原材料費	1.5			
	計		1.5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 さんけい	9130001035610	国宝薬師寺東塔模型模造	10	随意契約 (公募)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人	-	国宝春日大社所蔵古神宝類復元模造事業	3.1	随意契約 (公募)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人	-	教王護国寺所有重要文化財木造四天王立像〔(焼損) / (所在食堂)〕四軀復元模造事業	1.5	随意契約 (公募)	-	-	